
*
*
* 100人のOLに聞く *
* ホンネとタテマエ *
*

昭和60年9月

ポーラ文化研究所

＜調査＞

1. 調査の趣旨

『「甘え」の構造』の著者、土居健郎氏は、その続編である『表と裏』の中で、「なぜ日本人が建前と本音の二本立てというやり方を発明したかを、甘えの心理と関係づけて説明してみよう。まず子供が親に甘えるように、甘えることが自然で誰もそのことをあやしまない間柄は内である。これに対し、ある約束のもとに甘え的心情を持ち込むことが許される間柄は外であり、その場合の約束事が建前となる。すなわち建前は建前という合意のもとに人を結びつけるので、その限りにおいて甘えが働くのを許す結果となる。このことを言い換えれば、建前は建前が通用するサークルで甘えが働いているしるしである」と見ることができよう。そしてそのような甘え的心情に裏付けられた思惑が本音ということになるのである」と述べている。

一方、昭和58年8月、ポラ文化研究所が実施した「女性の群れ意識に関する調査」（昭和59年1月報告）では、「女性の群れは、男性のように集団組織的でなく、共感しなければ行動も起こりにくい」と指摘した。

集団組織的な意識や行動が要請される会社の中で、人生のさまざまな場面の経験が少なく、若年層の多いOLたちが、人間関係を形作る「ホンネとタテマエ」をどのように捉えているか。それを探ったのが本調査である。

2. 調査の概要

◎調査対象……都内勤務のOL100名

◎調査時期……昭和60年 7月

◎調査方法……アンケート方式

3. 回答者の属性

（年齢構成）

年齢	～24才	25～29才	30～39才	40才～	合計
人数	43名	34名	18名	5名	100名

（血液型構成）

血液型	A型	B型	O型	AB型	不明	合計
人数	42名	21名	27名	9名	1名	100名

4. お問い合わせ先

◎ポラ文化研究所 （村沢または渡辺）

＜結果の要約＞

1. 人間、ホンネだけでは生きていけない……。 →P. 3

世の中、ホンネよりタテマエを重んじている人が多く、人間、ホンネだけでは円満な社会生活ができにくいと考えている。

2. 「タテマエ中心の人」より「ホンネ中心の人」に好意的。 →P. 5

全体的にあって「ホンネ中心の人」への評価が高いのだが、つぶさに見ると、比較的ニュートラルな見方をしている様子が伺える。

3. ホンネの人の方が好きだが、バランスがとれていなければ。 →P. 7

タテマエよりホンネを大切にすることはとても好きだが、何といたってタテマエとホンネのバランスがとれている人でなくてはならない。25～29才の女性たちは、自分のタテマエやホンネと周囲のタテマエやホンネがぶつかりあう時期にあるせいか、他の年齢層以上にホンネの人が好きだし、タテマエとホンネのバランスがとれている人を望む。

4. 親子のキズナは強い。兄弟姉妹は他人の始まりか？ →P. 8

ホンネでつき合える間柄は、「親子→夫婦や恋人同士→独立した兄弟姉妹」の順になる。特に兄弟姉妹はお互いに独立すると、かなりタテマエを考えてつき合う必要を感じる人が多くなる。

5. なかなか難しい同性の友人同士の付き合い。 →P. 10

女性より男性の方がタテマエを重んじていると感じているが、女性の友人同士の方が男性の友人同士よりホンネでつき合っているかと聞かれると何ともいえなくなり、若干ではあるが「違う」という人の方が「その通り」という人より多くなる。女性の友人同士のタテマエとホンネの在り方も、なかなか難しいと思わせる一面がのぞいている。

6. 血液型別のホンネ論、タテマエ論。 →P. 11

全体では、日本人に一番多いA型の女性（約4割）の考え方が反映するのだが、これを標準として各血液型の女性に発言してもらうと、

A型→私が日本人の平均よ。

B型→自分はホンネオンリーで。でもなかなか難しいことがある。うまくやらなくっちゃ。

O型→ホンネの人大好き。タテマエの人はどうも性に合わないの。

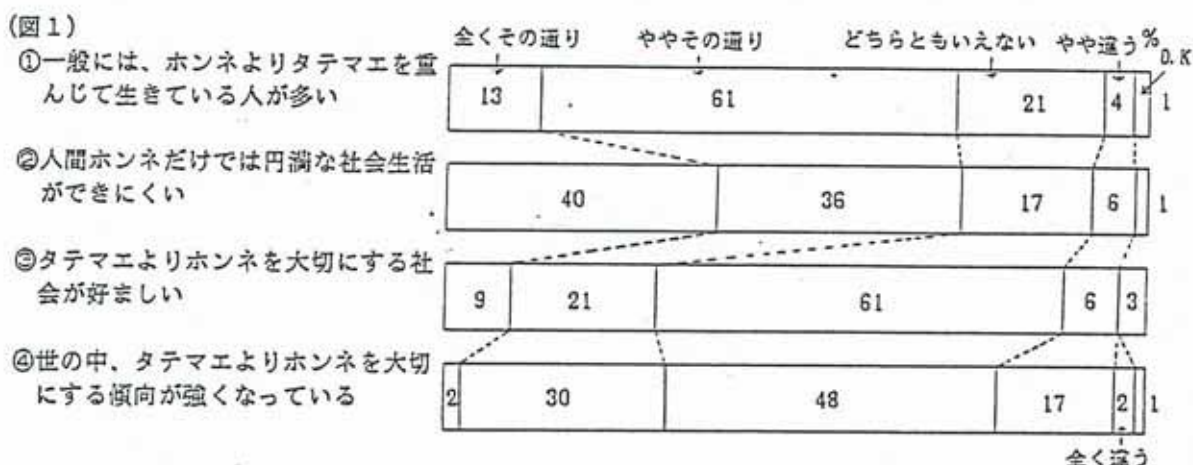
AB型→世の中、冷静に見ようね。

とでもなるのだろうか。

1. 人間、ホンネだけでは生きていけない……。

「ホンネとタテマエについて世間一般の在り方はいかがか」に関連した4つの質問結果、(図1)を見ると次のようになる。

- ・一般的にはホンネよりタテマエを重んじて生きている人が多いと考え、人間、ホンネだけでは円満な社会生活はできないのだというのが大方の考えである。
- ・一方、タテマエよりホンネを大切にする社会をやや好む傾向があり、今日の社会はその方向にあるとする人が多いものの、「どちらともいえない」が多数派であり、殊に「タテマエよりホンネを大切にする社会が好ましい」という意見については、「どちらともいえない」人が61%と、全質問中、最高の割合を示した。



これを年齢別に見ると、

(注) 全くその通り→1、ややその通り→2、どちらともいえない→3、やや違う→4、全く違う→5 の各点を配して平均値を出した。また、40才以上は人数が少ないので除外

質問 (要約)	傾 向	～24才	25～29才	30才代	全 体
①ホンネよりタテマエの人が多い	↗	1.98	2.29	2.39	2.16
②ホンネだけでは生きにくい	↗	1.74	2.03	2.00	1.89
③ホンネを大切にする社会がよい	↘	2.80	2.64	2.50	2.66
④ホンネを大切にする傾向が強い	↘	3.24	2.65	2.67	2.87

(注) 数値が高い方が否定率が高く、標準値は3.00である。

となり、若い人ほど

- ・「ホンネよりタテマエを重んじる人が多い」と考え、「ホンネだけでは生きていきにくい」と考える傾向がある。
- ・また、「タテマエよりホンネを大切にする社会を好ましい」と思ったり、「現在の社会がタテマエよりホンネを大切にする傾向にある」と思う傾向は弱い。

ことを示している。

24才以下の女性についていうと、彼女たち自身が持っているホンネに対し、「ホンネよりタテマエを重んじる人が多い」から「ホンネだけでは円満な社会生活ができにくい」と強く感じ、「現在の社会がタテマエよりホンネを大切にする傾向」にはないと思うのである。ただ、「タテマエよりホンネを大切にする社会がよい」という点では必ずしも肯定率は高くない。

2. 「タテマエ中心の人」より「ホンネ中心の人」に好意的。

ここに集めた質問は「ホンネ中心の人」と「タテマエ中心の人」の像に関連したもので、構造的には、

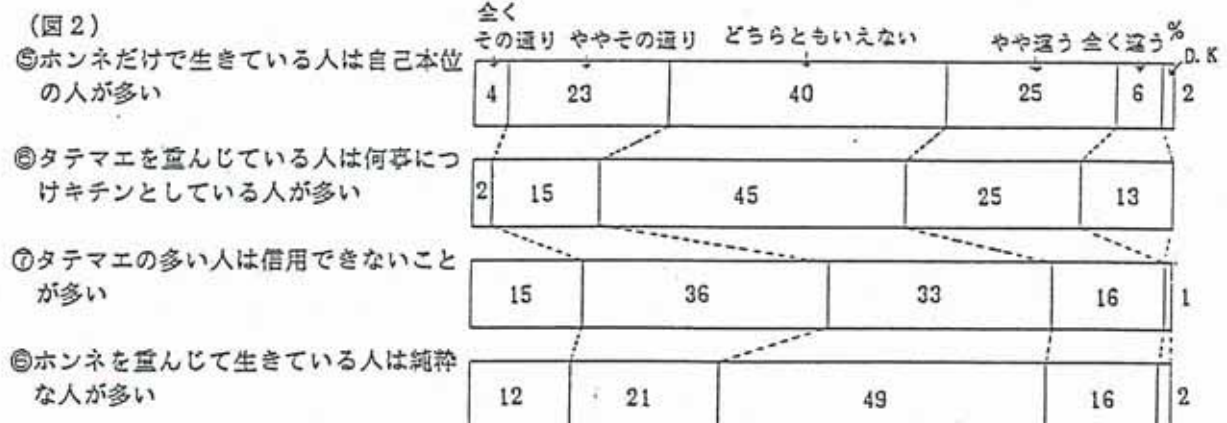
	好意的な評価	非好意的な評価
ホンネ中心の人	純粋な人	自己本位の人
タテマエ中心の人	キチンとした人	信用できにくい人

となっている。

具体的な質問内容については、情緒的に一定方向に引きずられる可能性を想定していたのだが、結果としては

- ・ホンネを中心に生きているからといって、必ずしも自己本位の人ともいえないし、純粋な人ともいえないと考える人が多いこと。しかし、「自己本位の人」ということについては、肯定側と否定側がかなりの数で拮抗しているし、「純粋な人」ということについては全体として肯定側に傾いているものの否定側も決して少なくないこと。などから「ホンネ中心の人」といっても、「その人のホンネの内容」によって好意的に評価できる場合もあれば、そうでない場合もあってさまざまだと考えていることがわかる。
- ・タテマエ中心の人についても、「何事につけキチンとしている」は、かなり否定側が強いものの、一概にそうはいえないと考える人が半数に近い。次に「タテマエの多い人は信用できないことが多い」という考えについては、これはもう圧倒的に肯定者が多い。

となり、「ホンネ中心の人」の方に評価が高いものの比較的ニュートラルな見方をしている様子が伺える。



次に年齢別の平均点を前項と同様の方法で見ると

質問（要約）	傾向	～24才	25～29才	30才代	全体
㊤ホンネ中心の人は自己本位	↘	3.02	3.29	2.72	3.06
㊤タテマエ中心の人はキチンとしている	↘	3.21	3.44	3.39	3.32
㊤タテマエの多い人は信用できにくい	↘	2.58	2.56	2.39	2.52
㊤ホンネ中心の人は純粋	↘	2.86	2.76	2.56	2.75

となり、

- ・「タテマエの多い人は信用できにくい」と「ホンネ中心の人は純粋」という考えに対して、年が高くなるに従って肯定率が高くなる。
- ・「ホンネ中心の人は自己本位」及び「タテマエ中心の人はキチンとしている」については、25～29才が一番否定率が高い。

となった。総じてみると25～29才の女性たちがタテマエよりホンネを評価しているようにも見受けられる。

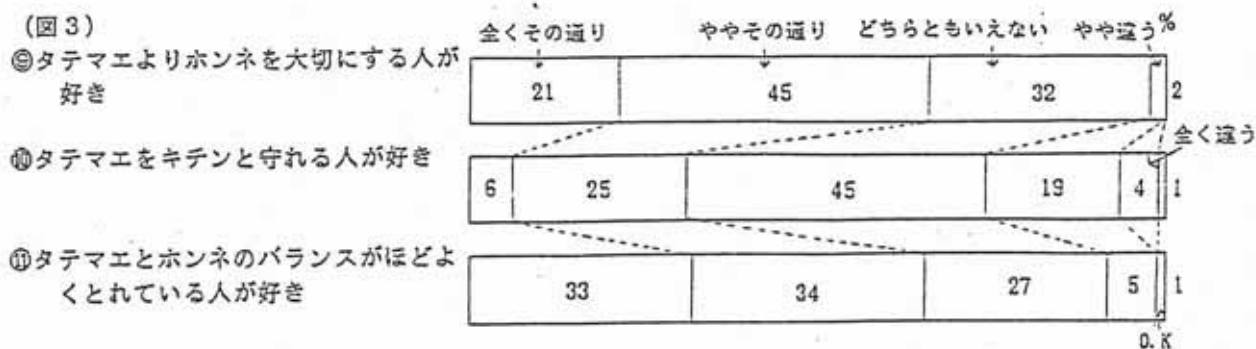
3. ホンネの人の方が好きだが、バランスがとれていなければ。

では、好意的という観点で「ホンネを大切にする人」「タテマエが守れる人」「そのバランスがとれている人」をみると、

- ・圧倒的に「ホンネを大切にする人」が好き。
- ・「タテマエをキチンと守れる人」は約半数が「どちらともいえない」と答えており、肯定側が多いものの否定側も結構多い。
- ・けれども「タテマエとホンネのバランスがほどよくとれている人」と聞かれれば、そういう人が一番好き。

となった。また、前項のような距離を置いた質問より、自分自身の好意度という距離の短い質問なので「タテマエ」より「ホンネ」の方により傾斜した心情がはっきり出たといえる。前項の結果と合わせて考えると、彼女たちは、世間一般の在り方はともかく、自分に接する人々は「タテマエ」より「ホンネ」で語りかけてくる人々であって欲しいと願っているといえる。

しかし、「タテマエ」が少なければ少ないほどいいかというと、そうでもなく、やはり「タテマエとホンネのバランスがほどよくとれている人」に対する好意度は抜群に高いものになり、第1項で記した「人間、ホンネだけでは円満な社会生活ができにくい」の結果に対応したものになっている。



年齢別には

質問 (要約)	傾向	～24才	25～29才	30才代	全体
◎タテマエよりホンネの人が好き	↷	2.35	1.91	2.17	2.15
⑩タテマエを守れる人が好き	→	2.88	2.91	2.94	2.90
⑪タテマエとホンネのバランスがとれている人が好き	↷	2.10	1.85	2.06	2.04

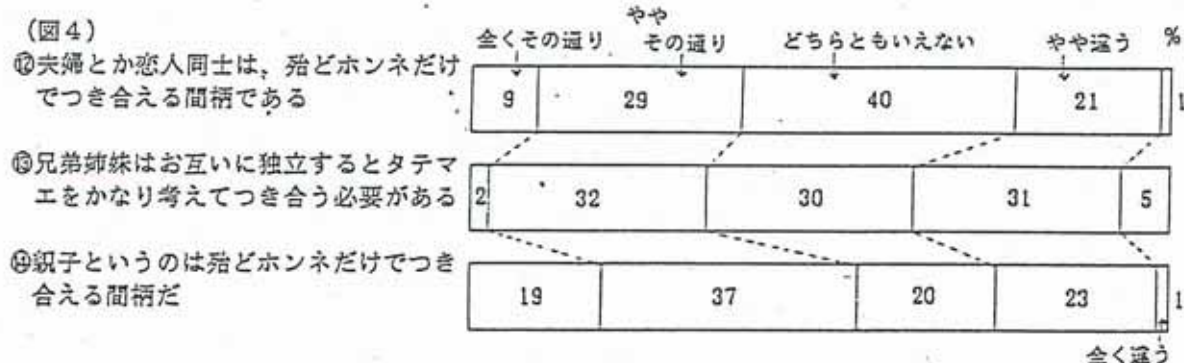
となっているが、25～29才の女性たちは、他の年代の女性たちに比して、特に「タテマエとホンネのバランスがとれている人が好き」としながらも「タテマエよりホンネの人が好き」であって、前項でこの年代の女性が「タテマエよりホンネ」を評価しているのではないかと述べたことが一層、確からしくなる結果を得た。

この年代は職場においてはある程度のキャリアを積んでいるが人生経験にはまだ浅いところがあり、結婚した人しない人、後に述べるような兄弟姉妹との関係の変化等々、自分のタテマエやホンネと周囲のタテマエやホンネが現実的にぶつかり合う時期にあるといえる。総ての年齢層で「タテマエとホンネのバランスがとれている人が好き」なのであるが、とりわけ25～29才の女性たちにその肯定率が高いのは、周囲の外圧を強く感じそれを越え切れていない年代にあるからではないだろうか。

4. 親子のキズナは強い。兄弟姉妹は他人の始まりか？

冒頭に掲げた土居健郎氏の「内なる間柄」でのタテマエとホンネはどうであろうか。下図の結果からいうと、

- ・ホンネのつき合いという点からいうと、間柄の親密さは「親子」→「夫婦あるいは恋人同士」→「独立した兄弟姉妹」という順になっている。
 - ・「親子」の間柄は確かにホンネでつき合える関係だが、それでも弱いながら否定的意見が24%に及んでいる。つまり、1/4 近くの方は親子といえども「ホンネだけでつき合える」とは思っていないのである。
 - ・これに対し、夫婦や恋人同士は、「どちらともいえない」が大幅にふえ、強い肯定意見も半減している。もともとは他人同士であり、若い女性たちにとって、甘いながらも厳しい関係性が求められるのではないだろうか。
 - ・兄弟姉妹については、答えがほぼ三つにわかれた。正に独立すれば「他人の始まり」の諺を思い出させる。
- となる。



年齢別には

質問（要約）	傾向	～24才	25～29才	30才代	全体
⑫夫婦、恋人同士はホンネでつき合える	↗	2.60	3.03	2.83	2.76
⑬独立すると兄弟姉妹はタテマエを考える必要あり	↖	3.02	1.91	2.94	3.05
⑭親子はホンネでつき合える	→	2.51	2.47	2.56	2.50

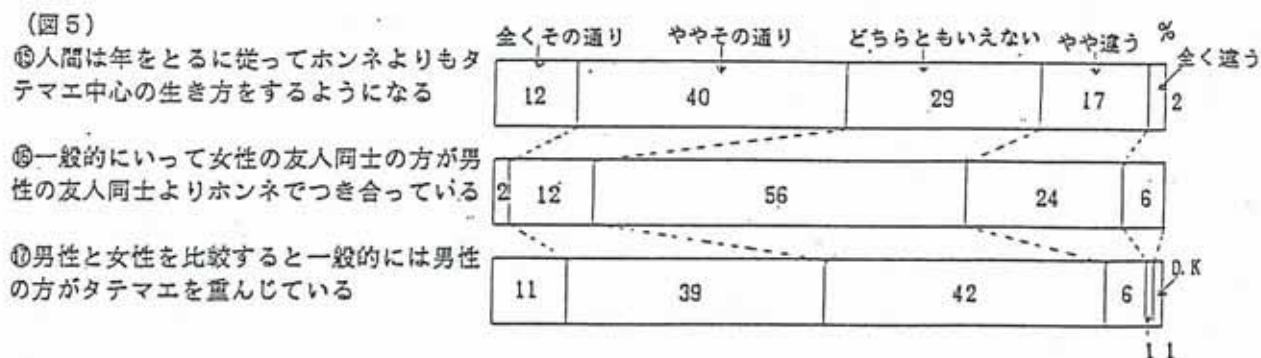
となるが、ここでも25～29才の層は他と異なった意見の持ち主である。特に兄弟姉妹の間柄ではタテマエの必要性を強く感じており、夫婦や恋人どうしの間でもホンネを抑えなければという気配が強い。前項で「周囲の外圧」と記したが、これは「兄弟姉妹とのわかれの季節」にあり、「夢心地でもなく安定も未だしの夫婦の関係、結婚を間近かにして現実的な問題に突き当たる恋人の間柄の季節」にあり、なおかつ「ただ若いからといって許されることが少なくなる年代」にあるからではないだろうか。

5. なかなか難しい同性の友人同士のつき合い。

人間、年をとるとタテマエを重んじるという認識は多くの女性にとって肯定されている。まあ、世間常識と余り違わない結果ともいえるであろう。

秩序と約束事で動き、冒頭で述べたように集団組織的な男性社会をタテマエ社会とするならば「女性より男性の方がタテマエを重んじている」という点で肯定率が高くなるのも当然だが、「同性の友人同士のつき合い」となると、過半数を超える人たちがどちらともいえなくなり（これは全質問中、質問③に次いで第二位の割合）、傾向としては女性同士の方が男性同士よりホンネでつき合っていないという人が多くなる。女性の友人同士というの、なかなか難しいという見方がそこにあるといってよい。

彼女たちの認識からいえば、男性のようにタテマエを重んじた社会生活に身を置かないのだが、さりとて同性の友人同士では、むしろ、男性同士の友人のようにホンネではつき合っていない面も感じるという幅漠した感慨を持たざるを得ないのである。



年齢別には

質問 (要約)	傾向	～24才	25～29才	30才代	全体
⑬年をとるとタテマエ中心の生き方になる	↗	2.30	2.71	2.72	2.57
⑭男性の友人同士より女性の友人同士の方がホンネでつき合う	↗	2.65	3.29	3.06	3.20
⑮男性の方がタテマエを重んじる	↘	2.48	2.71	2.00	2.46

となる。

24才以下では「年をとるとタテマエ中心の生き方になる」の肯定率が高く、「男性の友人同士より女性の友人同士の方がホンネでつき合う」への肯定率も高い。自分より年長者のタテマエが気になるし、女性同士の友人間で楽しくやっている様子が目に見えるようである。

25～29才になると男性社会のタテマエを他の年代ほど気にせず、女性同士の友人だってホンネでつき合っているかどうかかわからないという気分が強くなる。

30才代になると男性社会がタテマエ中心に動いていると強く感じるようになる。

6. 血液型別のホンネ論、タテマエ論。

血液型別で性格や価値観が異なるかどうか。

「そんなことに根拠はない」という人にとってはナンセンスそのものであるが、「根拠がある」という人や「根拠なんてどっちでもよく遊びとして面白いではないか」という人にとっては興味や関心があるであろう。

血液型論は流行し過ぎてやや風化の気味もあるが、このレポートでも一種の遊び（サンプル数も少ないし）として取り上げてみた。

各質問別に見た血液型別の平均点は下表の通りである。

分類	質問（要約）	血液型	A	B	O	AB	全体
世 間 一 般	①ホンネよりタテマエの人が多い		2.14	1.95	2.19	2.67	2.16
	②ホンネだけでは生きにくい		2.07	1.55	1.85	1.89	1.89
	③タテマエよりホンネを大切にする社会がよい		2.73	2.75	2.46	2.67	2.66
	④タテマエよりホンネを大切にする傾向が強い		3.00	3.00	2.70	2.56	2.87
人 の 評 価	⑤ホンネ中心の人は自己本位		3.05	2.80	3.35	2.78	3.06
	⑥タテマエ中心の人はキチンとしている		3.38	3.24	3.26	3.33	3.32
	⑦タテマエの多い人は信用できにくい		2.62	2.71	2.33	2.33	2.52
	⑧ホンネ中心の人は純粋		2.69	2.67	2.89	2.78	2.75
好 き 嫌 い	⑨タテマエよりホンネの人が好き		2.17	2.19	1.96	2.56	2.15
	⑩タテマエを守れる人が好き		2.88	2.70	3.15	2.67	2.90
	⑪タテマエとホンネのバランスがとれている人が好き		2.07	2.05	1.89	2.22	2.04
親 し い 間 柄	⑫夫婦とか恋人同士はホンネでつき合える		2.69	2.62	2.74	3.44	2.76
	⑬独立すると兄弟姉妹はタテマエを考える必要あり		3.00	2.76	3.26	3.33	3.05
	⑭親子はホンネでつき合える		2.43	2.29	2.74	2.67	2.50
年 齢 ・ 性	⑮年をとるとタテマエ中心の生き方になる		2.69	2.24	2.52	3.00	2.57
	⑯男性の友人同士より女性の友人同士の方がホンネでつき合う		3.17	3.24	3.26	3.11	3.20
	⑰男性の方がタテマエを重んじる		2.50	2.35	2.37	2.89	2.46

この表から、全体の平均点に対し最も肯定側によっている血液型と最も否定側によっている血液型を選び出し、その距離（点差）をプロットしたのが次の図である。

質問 (要約)		(全体の平均点からの低さ)				(全体の平均点からの高さ)						
		←肯定側→				否定側→						
		0.4	0.3	0.2	0.1	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7
世 間 一 般	①ホンネよりタテマエの人が多い			B 0.21						AB 0.51		
	②ホンネだけでは生きにくい	B 0.34					A 0.18					
	③タテマエよりホンネを大切に する社会がよい			O 0.20		B 0.09						
	④タテマエよりホンネを大切に する傾向が強い		AB 0.31			A 及び B 0.13						
人 の 評 価	⑤ホンネ中心の人は自己本位		AB 0.28					O 0.29				
	⑥タテマエ中心の人はキチンとし ている			B 0.08		A 0.06						
	⑦タテマエの多い人は信用できに くい			O 及び AB 0.19		B 0.19						
	⑧ホンネ中心の人は純粋			B 0.08		O 0.14						
好 き 嫌 い	⑨タテマエよりホンネの人が好き			O 0.19					AB 0.41			
	⑩タテマエを守れる人が好き		AB 0.23				O 0.25					
	⑪タテマエとホンネのバランスが とれている人が好き			O 0.15		AB 0.18						
親 し い 間 柄	⑫夫婦とか恋人同士はホンネでつ き合える			B 0.14							AB 0.68	
	⑬独立すると兄弟姉妹はタテマエ を考える必要あり	B 0.29				AB 0.28						
	⑭親子はホンネでつき合える			B 0.21		O 0.24						
年 齢 ・ 性	⑮年をとるとタテマエ中心の生き 方になる	B 0.33								AB 0.43		
	⑯男性の友人同士より女性の友人 同士の方がホンネでつき合える			AB 0.09		O 0.06						
	⑰男性の方がタテマエを重んじる			B 0.11						AB 0.43		

血液型を答えた人99名中、42名がA型であるから、全体の平均点は当然、A型の女性の回答に引っ張られ、その意味ではA型の特徴は出にくい。従って、上表は日本人の中で最も多いといわれるA型と比較して他の血液型はどうかということを示しているともいえる。以下、各分類毎に血液型別の特徴を述べて置こう。

【世間一般のホンネとタテマエについて】

この項では、B型とAB型が特徴的である。

B型→「世間にはタテマエの人が多い」と考えており、「ホンネだけでは生きにくい」とも考えている。そして、他の血液型に比し「ホンネを大切にする社会」を望む率が低いし、現在の世の中が「ホンネを大切にする傾向が強い」とする率も低い。つまり、自分自身はホンネで生きたいのだが、そんなにうまくいく筈はないことを自覚しているといえる。

O型→なにしろ、「タテマエよりホンネを大切にする社会」であってほしいと願っている。

AB型→余り「世間にはタテマエの人が多い」と思わず「タテマエよりホンネを大切にする傾向が強い」と考えている。「皆、結構、ホンネで生きているではないか」という見方で他の血液型よりクールともいえそうである。

【人の評価】

この項では、O型とAB型に特徴がある。

O型→「ホンネの人は自己本位」と余り考えないが「タテマエの多い人は信用できにくい」と考えている。さりとて「ホンネ中心の人は純粋」とも思わない傾向にある。しかし、総じてみると「ホンネ中心の人」への評価が高い。

AB型→「ホンネの人は自己本位」と考え、「タテマエの多い人は信用できにくい」と考える傾向にあり、是々非々論を持っているともいえる。

B型→それほど特徴的でないが、若干、触れておくと、「タテマエの多い人は信用できにくい」と考える傾向が小さく「タテマエ中心の人はキチンとしている」し「ホンネ中心の人は純粋」と考える傾向が強くて、タテマエの人もホンネの人も両方認めようという気配がある。

【好き嫌い】

O型とAB型だけがはっきりとその特徴を示したのは、奇妙なぐらいである。

O型→「タテマエよりホンネの人」が好きで「タテマエを守れる人」は他の血液型より好きではない。「タテマエとホンネのバランスがとれている人」への好意も他の血液型以上であるが、いずれにしても「ホンネの人」大好き、それを前提にしてのバランス論といえそうである。

AB型→O型と逆なのがAB型で、タテマエの人を重んじる傾向がいささか強い。全体がホンネに傾いている中で、比較的にタテマエを尊重するAB型は前述の通り「クール」で「是々非々論」の持ち主といえるのである。

【親しい間柄】

B型とAB型が対称的である。

B型→夫婦と恋人同士、また親子の関係では最高のホンネ論者であるが、独立した兄弟姉妹ではタテマエ論を持ち出す。

AB型→これに対して、AB型は真っ向から反対である。事実、「質問④親子の間柄」でも、肯定度の低いO型にかなり近い位置（前図の否定側の距離は、O型の0.24に対し0.17にある）にある。ホンネとタテマエをクールに見ているのがここでもはっきりしている。

〔年齢・性〕

B型とAB型がここでも対称的である。

B型→「年をとるとタテマエ中心の生き方になる」の肯定度が高く、「男性の方がタテマエを重んじる」の肯定度が高い。若い女性が調査対象ということからいえば、自分に対して年長者はタテマエ論者と映るのだし、男性もタテマエ論者に映るのだろう。その意味でB型女性は自分はホンネオンリーで生きたいと考えていて（前述）周囲のタテマエが気になるのである。

AB型→B型と対称的であり、年長者も男性も他の血液型ほどタテマエ論者だと思っていない。ホンネとタテマエの在り方を冷静に見ている。

以上であるが、各血液型を更に浮き彫るため、A型を標準として敢えて各血液型の女性に短く表現してもらうと、

A型→私が日本人の平均よ。

B型→自分はホンネオンリーで。でもなかなか難しいことがある。うまくやらんくっちゃ。

O型→ホンネの人大好き。タテマエの人はどうも性に合わないの。

AB型→世の中、冷静に見ようよね。

とでもなるのだろうか。

以 上